

## 2025年度入社式社長挨拶

ニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：岸淵 和也）は、2025年4月1日に入社式を行いました。社長挨拶の主旨は以下のとおりです。

### <歓迎の挨拶>

本日は、98名の新しい仲間をお迎えできたことを心から嬉しく思います。社員全員で歓迎いたします。今日は皆さんお一人おひとりにとって、新たなスタートとなる大切な日です。それぞれにIT業界のプロフェッショナルとして活躍する姿を胸に抱き、この場におられることと思います。ここに集まった同期の仲間たちと力を合わせ、時には競い合いながら、プロフェッショナルへの階段を一步一步登って行って欲しいと思います。

### <当社が目指すこと>

本日から当社の一員となった皆さんへ、まずは、当社が「目指すこと」について3つお話しします。

#### 1. 保険・共済・年金・ヘルスケアのプラットフォーマー

1つ目は、社会や生活の基盤となるサービスを提供するプラットフォーマーとなり、「お客様や社会に貢献すること」です。当社の事業領域は、「保険・共済、年金、ヘルスケア」といった私たちの生活に欠かせない領域です。こういった「いのちを支える産業」に関わるお客様のシステム基盤を支え、ITで貢献していくことが、私たちの使命です。

このことは、現在進めている中期経営計画「NISSAY IT 2025 Vision」の柱でもあります。

日本生命は生命保険業界のリーディングカンパニーです。新たな商品の開発や、お客様にとってより快適で役に立つ新しいサービスを作り上げていくことは、業界のリーダーとしての責任でもあります。私たちは、そうした保険サービスの提供やITサービス構築の最前線を担っています。

そうした保険分野で培ってきた豊富なノウハウを、共済や年金、保険と密接な関係にあるヘルスケア領域にも展開し、「Life Industry Platformer」としてお客様や社会に貢献していきます。

#### 2. 成長する会社

当社が目指すことの2つ目は、「成長」する会社であることです。IT企業の「成長」には、

- ・日々進化する技術への迅速な適応

- ・新技術を活用したプロダクト・サービスの開発
- ・DXに取り組むお客様への優れたコンサルティング
- ・各分野における質の高いシステム開発力

などが求められます。「競合他社の一歩先へ」、との思いで、スピード感を持ったプロダクト・サービスの開発や研究・開発基盤などへの投資を積極的に継続し、当社の成長を実現していきます。

### 3. 人が財産の会社

3つ目は、「未来を支える・社会に貢献するIT人財を育てること」です。そのために、開発への投資に加え人財投資も積極的に行っています。当社では「NISSAY IT アカデミー」という組織が、充実した研修体系のもと、社員の成長過程に沿った学びの機会を整備しています。

IT技術、保険実務に関することをはじめ、プロジェクトマネジメントなどのヒューマンスキルを伸長させるカリキュラムをベースとしつつ、業界を代表する著名人や社内の第一人者が登壇するトークイベント、日本生命をはじめとしたグループ企業や同業他社との交流機会などを提供し、社員の皆さんに楽しく学んでいただいています。

IT業界での活躍には、社内・外へ人脈を広げていくことも非常に大切です。新入社員だからといって遠慮せず、皆さんも積極的に参加して欲しいと思います。

先ほど申し上げた中期経営計画においても「お客様と社会に貢献するデジタル人財集団への成長」を目標のひとつとして掲げています。全社員が自ら成長し、そのことを通じて、会社も成長するという好循環が生まれるよう、皆さん一人ひとりを尊重し、大切にし、ともに成長していきたいと思っています。

#### <当面取り組んでいただきたいこと>

私の大きなミッションのひとつは、全社員と一丸となり、ここまでお話しした当社の「目指すこと」を実現していくことですが、ここからは皆さんに当面取り組んでいただきたいことをお話します。

当社がこれからも、保険・共済、年金、ヘルスケア領域のデジタル・イノベーションをリードしていくうえで、必要な知識・スキルの基礎となるのが「SE力」と「保険実務力」です。

「SE力」は、アルゴリズムを組み立て、プログラムを作り、テストをして稼働させることであり、全てのITの基本です。AI活用やデータサイエンス、コンサルティングなどSEとして様々な活躍の場を拓いていくためにも、コードが書ける、テスト工程を熟知しているといった基礎力こそが武器になり、また、時にはその知識がビジネスの前提とされます。皆さんには新入社員研修の中で、Javaのプログラミング実習を受講いただきます。その後、各職場でSEとしての経験を積んでいただきます。この2～3年の実務期間に、如何に真剣に、そして主体的に取り組むかがとても重要になってきます。長い社会人生活を支える「宝」になるはずで

「保険実務力」は、社内研修のほか、各職場において業務フローや事務取扱要領も含めた業務知識

を、システム開発を通じて習得していただきます。保険商品、事務制度、アンダーライティングなど、保険実務の幅は想像以上に広いものです。一緒に働く日本生命などから出向している方からも、保険業界の現場や実態を教えてもらって下さい。

これは決して活躍の領域を「保険」のみに限定するものではありません。「ビジネスとシステムを繋ぐ」というSEとしての役割を果たすうえでの基本型を「保険」という領域でしっかり学ぶものと理解し、取り組んで欲しいと思います。

「SE力」と「保険実務力」を基礎力として習得し、ぜひ市場価値の高いプロフェッショナルになっていって下さい。

### <最後に>

最後に、働く際に意識して頂きたいことを2点申し上げます。

1点目は、IT業界では個々人のスキルも重要ですが、会社としての強さを生み出すのは、「チーム力」だということです。チーム内でのコミュニケーションは、日々の仕事での困りごとを上手く解消するための重要なファクターです。ここにいる同期の仲間たち、職場の先輩社員や上司との積極的なコミュニケーションを常に心掛けてください。

これからは、今までに経験のないことや苦手なことにも取り組まなければならない場面もあると思います。これまでの友人・知人関係とは違う「人と人との関係」も経験すると思いますが、それらの経験が成長に繋がりが、そのことを積み重ねることが、社会人として大きく飛躍していくための大切な基礎となります。そのことを意識して、様々なことに取り組んでください。

2点目は、様々なことに取り組むにあたっては失敗を恐れず、自分にとって未知のこと、ニッセイ情報テクノロジーにとって未知のこと、そして世の中にとって未知のことに積極的にチャレンジして欲しいということです。

私は社会人になって36年になりますが、思い起こすと新人時代から数限りない失敗をしてきました。思い出すだけで、今でも冷や汗がでるようなこともありました。ですが振り返りますと、未知のことに挑戦し、何らかの達成感を得たことが次への意欲につながり成長のエンジンとなったことに加え、失敗したときも大きな学びを得ることができ、同じように成長につながったと感じます。逆に、昨日と同じ今日を過ごし続けていたら、成功も失敗もなく、成長することは無かったと思います。

困ったときは、チームの仲間も助けてくれますので安心して新しいことに挑戦して下さい。

私自身、皆さんのチャレンジを後押しして行きます。

このようなことを通じて、皆さん一人ひとりが元気に前向きに活躍していただけることを楽しみにしています。

それでは、今日から仲間として、一緒に頑張ってください。

以上